

寺報

龍正寺

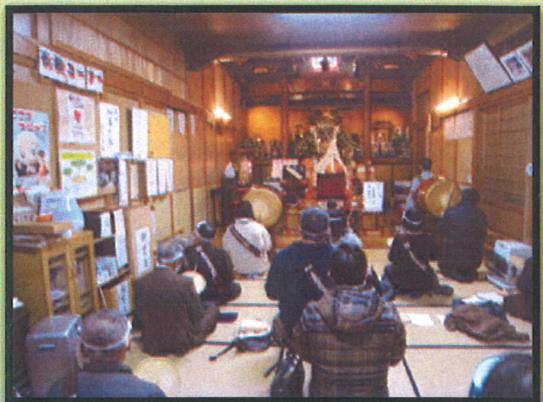
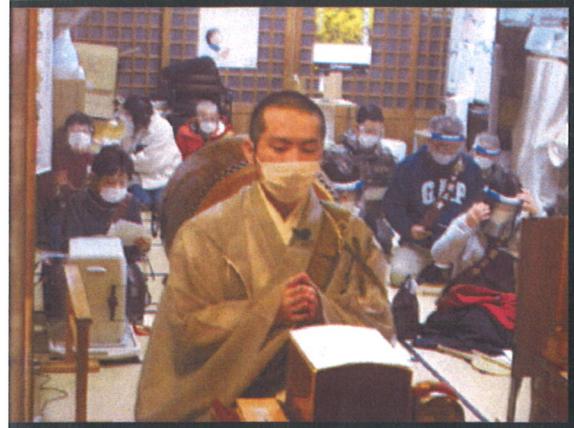
日なた 153号



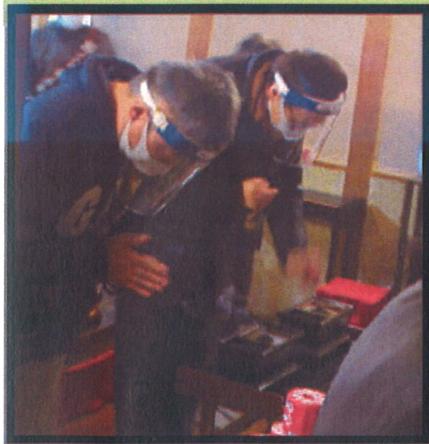
<令和 3年 2月>

宝龍会
護持会

令和3年元旦祝祷会開催しました。



各家1名のみ
マスク・フェイスシールド必ず着用での参拝でした。
必ず来年こそ、コロナに勝てますように！
各々の願いを込めて。



参拝できなかった方々からも、例年のように多くのお供え物が奉納されまし

位 聞 一言 「御遺文諸法実相鉄より」

本年は12年年に一度の節分会、2月2日です、2月3日立春を迎えますが、まだまだ寒い日が続きます、まだコロナウイルス菌はなかなか終息いたしません、皆様方一人一人が充分気を付けて下さい、手洗・消毒・マスク等必ずいたしました。

日蓮大聖人 御遺文「諸法実相鉄」云

いかにも今度信心をいたして法華経の行者にてとあり日蓮が一門となりとぞし給うべし。日蓮と同意なれば地涌の菩薩たらんか。地涌の菩薩にまだまりなれば教尊久遠の弟子たる事あに疑ひや経に云く「我久遠より來、是等の縁を教化すとは是れなり。末法にて妙法蓮華経の五字を弘めん者は男女はきらうべからず。皆地涌の菩薩の出現に非ずとは唱えがたき題目なり。」日蓮一人はじめ南無妙法蓮華経と唱えしが二人三人百人と次第に唱えつたうなり。未來も又しかるべき。是れあに地涌の義に非ず也。勅え広宣流布の時は日本一同に南無妙法蓮華経と唱え事は大也正的とするべし。ともかくも法華経に名を立て身をすかせ給うべし。』

〔解説〕 いかなる困難が超らうとも、信心堅固の法華經の行者となり、日蓮が一門となり通されるがよい。日蓮と同意であるかぎり、本化の菩薩の一分であろう。本化の菩薩と定まつたならば“承尊の久遠の弟子であることは疑の余地がない。本化の菩薩に対するみろく疑を解く為に承尊は「私は久遠の昔から、これらの入達を教化して來た」と涌出品に説れてあるが（妙法蓮華經卷五、従地涌出品第十五）此の經文は日蓮等のことなのである。末法の世に妙法五字を弘める人は、それが男であろうとも女であろうと、皆本化の菩薩なのである。そうでなければ妙法五字の題目は決して唱へられるものではない。されゆえ日蓮が唯だ一人でも唱へはじめた「南無妙法蓮華經」を、二人三人百人と次第に唱へ伝へたのであるが末法の世もまたこれと同様にますます信唱の行者が増すであろう。その次熊は、涌出品において六萬恒河沙の多数の本化の菩薩が、大地から現はれたのと同様である。かくて末法萬年の末に天四海に廣宣流布して、日本国一同に南無妙法蓮華經と唱へる時のものは、大地をまととするよりもより一層確実なることである。何はともあれ法華經の行者となつて身命を擣げられたい。日蓮大聖人は妙法蓮華經の五字を説けています。皆様方御一生に南無妙法蓮華經と唱えましやう。

合掌

至誠天へ通す

どんなにがんばっても人に認められず、悔しい思いをすることがあるかもしれません。そんな時は、つらく苦しく投げ出していくかもしれません。

ですが、あなたの心がますますで、誠意を持て行動しているのなら、きっと認められる日がきます。なぜなら、どんな人も最後は真心や誠実さに心を動かされるからです。一点の曇りもないほどの誠意があれば、気持ちが通じて、必ず道が開かれるでしょう。

この文章を目にした時、仙の道と一緒にだと思いました。日々精進しても、その中には「どんなにがんばってるのに」という我が出でます。

注意を受けた時は「こんなにがんばってるのに何でそんな事言われたかんの」と怒りや悔しさ思いが出ていました。

よくお上人より、「皆がんばってるよ。当前じゃないか」と言われていました。

自分の事しか考えていないから、怒りや悔しさになりますが、自分の我が抜けてくると、言われても「あ、そうか」と受け入れる事ができるようになるの

です。気付かない間は、この「がんばってるのに」という思いが出来たり おさまたりしているのです。

本当に一生懸命に取り組むと 物事の本質がわかりはじめ、自分の我がある事が少なくなりました。

仏様はすべての思い行為を見て、仏様に
対する気持ち、誠意の本質を見抜き 私達に
道を開いてくれます。

「助けて下さい。お原貞します。」こうなりたての願望だけで、自分自身が変わらない、変わろうとしてない人へは厳しい現実を突きつけられます。

昔は、その現実が受けとめれずにいましたが、
今は本当に無理・助けてと思う時にすと救い
手が表れる事が多くなり、感応の道交を感じ
ます。

「巣立ち」

先日、寺院内にて役員の方々との談話の中で、娘さんが学校を卒業され、関西方面への就職を考える旅立ちの事を複雑な心境で語られました。ちょうど7年前に私の長男が大学で地元の下宿に行く時も、妻は一週間も泣きました。その時を思い出すと、弟の言葉が見つかって。

私は、と… 30数年前の18歳で親元を離れて時を思ふと…

父の手紙で、三越で手伝ってくれた。

父母が軽トラックで三越で手伝ってくれた。アパート先で、3合炊きの小まほ炊飯器に目一杯の白飯を炊いてくれた母は、その自炊を食べようとする父に「これはこの子のだから食べたらいいんだ!!」と真剣な顔で怒りました。母の姿が遠い記憶から甦る機会にもなった。

また、母は電車で3時間の距離を息子に会いに来てくれある朝に電話があり、「三越デパートの前に来てくれる」と告げられたもの…

仕事で疲れましたが私は二度寝をしまいました。慌てて起き向かうと母はその場で5時間も待つました。後年…母が七くなる間際に、その時の話を笑いながら温めさせていた。

お釈迦様は、娑婆世界に生きる人間に
「生老病死」の四つの苦しみを説かれると
聞きました..

「老」「病」「死」の苦しみは何となく
理解できるものの…

「生きる苦しみ」とは何だろうか？そんな疑問がありまく。
生きるという事は喜びや笑いや感動や幸せや。
苦しみとは離れて気持ちも味わう事もあります。
しかし… しかし、親子の愛離の苦しみやほの辛く
いつも死別といつも避けき通れぬ道もありす。
それもまた現世に生きる娑婆世界の修行
ですのでもしり…。

34年前の春…私の母もさと息子の東立ちを
そんな想いです…今はどうか…。
改めて両親への供養の気持ちが強くなる
思いと付いた。

春の訪れが待ちどおしく思えます 今はこの頃
ともなりました

私は1月末で80才を迎える

100歳時代の中で「80歳」まだ若さによって
おいやさ方もございますがでもやはり80歳は
80歳の中で重く深く有りがたく感じます

自分の誕生日は私をこの世に誕生させて
くれました父母に感謝の御礼と申すことを
学びました 若さに故に何人の恩返しと致は
せざることが心に残ります

父は戦死です 私が4才妹が2才 母は28才で未亡人と
なりました!! 大変な中二人の幼な子を育ててくれました
ことなどは恩いもせずではございません!!

父の永代供養の折に護国神社さまの宮司さん
お詫の中より心の底より父と母の大変さに気がきました
70歳を過ぎた頃のことです やさしい言葉かけとてきず
終りました 母と72歳で亡くなりました 今の恩返しは
迎善供養を務めさせていただくだけが父と母へと
届くことと想つてみます こんな思いに気づかせていただき

まことに 仏縁のおかりさまとよろしくてございます

私も老いて来ましたか 今ですが 今の今は大切に

1日も大事に過ぎさせてゆかねばとなります

息子家族に世話をなつての日々でございます

父・母に 今 幸せでよろしくいっぱいですと渡りまして
御礼を申しております

いろいろある人の道でございましたが

「きた道上にありがとうございます」

「これから先の行く道をお願い致します」

わが厂史の1ページでございます

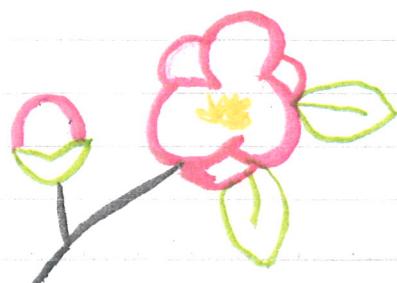
尊々尊の日々にお題目で

御礼を申し上げさせていただきます

ありがとうございます

南無妙法蓮華經

合掌



孫からのプレゼント ももや！ももや！～

今年も先の見えないコロナとの戦いが続いています。

世界中が不安の中にいます。しかし必ず終わりが来ると信じています。

そのような生活の中で、孫達から元気・勇気・希望をもらいました。孫達が大きな声で歌を歌ってくれました。それはビックリするほど力強い歌でした。孫達がキラキラ輝いている！歌が終わると“ももや・ももや”穴があいたら入りたい等セリフを言ながらアクションを交えて見せてくれました。3~6才の子供達をこんなに夢中にさせる漫画があるの？と驚きました。それは「鬼滅の刃」の“紅蓮華”でした。歌詞にも興味かわってき…。この歌を孫達と歌ったり、「鬼滅の刃」の話を一緒に出来たら楽しいだろうなと思いました。こ山を期会にと、映画を見ました。なんと大感動!! 大泣き!! 3回映画館に通いました。(オ2回緊急事態宣言前です) 60才還暦前に俗に言う”ヒ嵌まり”です。全内容が知りたいと漫画本全巻購入しました。しかし注文すれば、なかなか手に入らず、やっと手に入ったのは

12月18日 鬼子母尊神様の日でした。きっとこれも何か
学びとなると強く思いました。読みは読むほど、人間
社会そのものでした。リアルに人間の弱さ、儻さ・傲慢
等、その中での家族愛…教知れずの人生の学びが描かれ
ていました。内容はとても奥深く、色々な事を考えさせら
れるものです。それは法華経、仏教のお教にも思えました。
孫との楽しみのチャンスと60才の節目に何か大きなプレゼン
トを頂いた様に思います。日々ご縁を頂けるのも法華経
御題目のおかげ様です。心から報恩感謝謝徳で
す。今年もコロナにふりまわされずに、よく生きる事
なく精一杯色々な事にチャレンジしたいと思します。

"逆境の時こそ、チャンスの時、チャンスをめざすには
ます笑顔でこのような時も楽しく時を過ごす事を
考えていきたい"と思します。

— ☼-あつたか言葉 ❤ —

寒い日が続きますね。皆様、体調管理に気を付けましょう!!

先日、4年生の息子と話していく時に事です。休み時間に委員会の仕事をしていると、周りの友達が邪魔してきた。3日程連続で注意してもやめてくれないと言うのです。先生に相談しても、呆れるだけであまりきつく注意してくれなかつた…。明日も委員会があるからどうしよう…という相談でした。

私はもう一度先生に相談するようにと言いました。『仕事が進まないので困っています。どうしてらしいですか?』息子は、先生にもう伝えてあるし…と乗り気でない様子でした。私は、『じゃあ、友達にきつくなれるよ、って言ってやれ!』と伝えました。すると、息子は、そんな方はダメだと言います。『チクチク言葉だから…』私はハッとしてました。何かお手紙でも読んで気がするな。相手が嫌な気持ちになる言葉は使わず、『あつか言葉』をたくさん使えるといいでですね!と言われていたのを思い出

まいに。どう考へても、邪魔してくる子の方が悪いのに、嫌な思いをしているのはこちらの方なのに、言葉を選んで伝えようとしていた息子に頭が下がります。

そこから言葉が膨らみ、「じゃあ、何て言えば伝わるやへよ」『何回も言ってるけど、委員会の仕事や進まなくてはならないから、別の場所で遊んでくれない?』はどうかな?!』など、中々、話し合う事が出来ません。もしかしたら、その友達は委員会の様子や気になってしまったり、Tにやかましくもれてしまい。人間誰もが、感情に流されて思って事をポン!!と言ってしまう時があると思います。でも、少し冷静になれば、違った言葉選びができるかもしれません。悩んでいる事も、以外とスムーズに解決できたり、嫌な空気になる事も避けられるような気がします。
息子に教えられました。感謝です。

〈2月行事予定〉

2月 16日(火) 10:00 ~

{ 宗祖日蓮大聖人奉恩会
釋尊涅槃会
鬼子母尊神
七面大明神) 祈祷会

〈2月住職の予定〉

寺院にて法事

〈2月の予定〉

2月 9日(火) 各々の時間で 清掃、準備

?

15日(月)

